

令和5年度上半期番組審議会議事録 2023年5月19日

出席

会長 小池健一 南長野医療センター篠ノ井総合病院 名誉院長

石坂健一 塩尻市副市長

大池剛 農業

大月弘士 株式会社松本山雅取締役

上條まゆみ 元あさひ保育園副保護者会長

嵯峨宏一 松本市副市長

菅谷千恵 農業 JA 松本ハイランド未来塾卒

堀内由理 松本信用金庫 総務部総務課勤務

横山和佳枝 松本ゾンダクラブ会長

テレビ松本 佐藤浩市代表取締役会長

須崎 修代表取締役社長

事務局

テレビ松本 制作部副部長 浅輪英典

## 1、委嘱状交付

## 2、佐藤会長挨拶

今日は大変お足元の悪い中ご出席ありがとうございます。

4月から電気料金が値上がりしていますが、加入者の皆様には割引（テレビ松本電気）のご利用ができるようになっております。そして来年、当社は6月2日に50歳の誕生日を迎えます。来年になったらまたご案内をしますのご臨席賜りたいと思います。

テレビ松本は市議会議員の選挙速報をCATVでは全国初の生中継をしました。当時は手書きで大変お叱りもいただきましたが、これまで40年間やってきて、番組放送の原点としています。今まで11回ほど中継をしました。そのほか市長選挙もやっております。今回の選挙報道も多くの議員の方が加入し視聴いただいております。

テレビ松本は野球もサッカーも文科系の放送も多くの中継・収録をしております。今日のご忌憚のない意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。ご出席いただきありがとうございます。

3、小池会長：前の会長のようにスピーディにウィットに富んだことはできませんが、スムーズな会の運営を心がけます。

これまでテレビ松本では選挙や槍ヶ岳など素晴らしい実績を上げてきています。

私たちの意見・要望が、テレビ松本さんにとって有意義な意見となりますことをお祈り申し上げます。

4、審議委員ご紹介

5、テレビ松本出席者自己紹介

6、主な番組制作報告

浅輪副部長：年末年始の特別編成として、3日まで12タイトル制作しました。主なものはガウンにタッチ、小口利幸前塩尻市長の5期20年の足跡、槍ヶ岳4K初日の出生中継です。どういうものかと言いますと、街中で臥雲市長に聞きたいことを聞いて、直接質問するというものです。槍ヶ岳は、4Kの初日の出映像を生中継しました。弊社の独自事業です。ユメックスアリーナ開館イベントも、2時間番組を2月に放送しました。

NHKエンタープライズと文化庁とのコラボで、奈川の獅子舞を全国配信しました。

大変好評をいただきました。信州大学入学式・卒業式は松本に本部があるということで中継をしました。

14番以降は別紙を見ていただき、県議会議員選挙の告示日には、初日の訴えとして90分にまとめた番組を放送しました。県議会の開票速報ですが、出口調査の結果もあって、2日前に会長の判断で1時間前倒しで放送しました。

内容も全て変更して臨ませていただきました。定数7のうち、当選した6名が夜遅くにスタジオに来ていただきました。youtube再生は6000回ほど。翌日からは、喜びの声をまとめた番組、その後一週間は選挙ウィークとして、特集番組を放送しました。

市議会選挙に関しても、訴えなどをまとめたものを放送しました。

特集として若者のアンケートや女性活躍についても制作しました。大変注目度の高い女性新人候補がいて、上位当選した女性候補者3名にきていただいたのは、非常に番組の内容をよくしてくれたのかなと思います。

そして朝から当選者の声を放送しました。

松本・塩尻市の新人議員に聞くという番組も制作しました。全員きていただき、収録をしました。その後、現場担当記者が振り返るという番組、正副議長選挙を生中継するというのをしました。

議員の先生から、支持者の方から好評があったと伺いました。「見たよ」などと言う声を聞いたのは励みになったとコメントもいただきました。

## 7、課題番組意見交換

小池会長：あいうえお順で順次お願いします。

石坂委員：選挙に関する報道に関心を持って拝見しました。

3点。佐藤会長自らが当確・当選を出していましたが、これが原点なのだと思います。早く正確に伝えていくということ。

スタジオに議員さんをお招きして、地域密着型だからこそフレッシュなことができる。

2点目は課題認識をしっかりとらしている。投票率の低さは、まだまだメディアができることがあると思います。

塩尻市も、年々低下していることに対して、市政県政への関心が下がっているというのを気にしています。

信州大学の学生さんのように、次世代を担う方が、自分が行政を変えていけるんだと実感できる機会だと思います。

3点目。取材の方、アナウンスの方がシンプルで身近に感じます。視聴者の方に信頼されるコンテンツになっていると思いました。

大池委員：争点と焦点。投票前に、市民が確認できるいい機会だなと思いました。

視聴者が見ることでとてもいい刺激を受けます。現場担当者の報告番組は、裏側が見えて面白かったです。出口調査の円グラフは、目で追うのが難しく、見づらかった。でもわかっ  
てもらうために努力しているんだと思いました。

大月委員：政策のことを説明するのは、言葉では難しいですが、テロップがわかりやすく、色合いといい、見た目がわかりやすかったです。

争点と焦点は、新聞もそうですが、市議会と臥雲市長の対立がよく出ていたと思います。

上條委員：争点と焦点について、グラフが見やすくて、わからなかったことが理解するのに時間はかかりませんでした。

若者の考える市議選は、投票率が年々低くなっているということについて、CHANGEを初めて知って、私も調べて、番組をきっかけに市民が知れたと思います。

選挙報道に力を入れていることが伝わりました。

8時に放送を始めたのは、少しでも早く結果をお知らせしたいという気持ちが伝わってきました。テレビ松本といえば生放送。市議の方の出演は、視聴者への思いやりと社員の凄さを感じました。朝日村の選挙放送ありがとうございました。

初の女性村長誕生かと注目度の高い選挙でした。選挙に興味を持たせるきっかけになる番組になっているなど感じます。

嵯峨委員：地元のケーブルテレビさんならでは。特に争点と焦点は、良かったなと思います。信大の方は、苦勞してアンケートしていたので、臥雲市長にもっと笑ってほしいと言っていたのですが、本人は笑いたくないのに笑えないなんて言っていますが、率直に放送してくれてありがたいと思います。

当選者をスタジオに呼ぶというのは画期的で、佐藤会長の凄さかなと思いました。

朝日村村長選挙は注目していて、解説をいただきながらわかりやすかったです。

20分ごとの開票速報ですが、信濃毎日新聞社の方とお二人でやっているところは、明るくエンターテインメント性を持っていただけるといいかなと思います。

菅谷委員：争点と焦点。わかりやすく説明されていたと思います。課題になっているところがわかりやすかった。若者が考える、は信州大学の学生さんがアンケートをしてそれが具体的に、もっと見たいな、選挙前に見れば良かったなと思いました。

若者の視点だけでなく、子育て世代などのインタビューもあると面白いなと思いました。

開票速報中継の選挙報道の裏側を見られて面白かったです。

臨場感もあって。私も、出口調査の円グラフが気になって。その場でパッとみてもわからなくて、理解のある人だといいいんですが。

議員さんと呼ぶことが強みだと思いました。

堀内委員：選挙速報の途中で特集があり、今後の市議会の参考にもなりました。

課題番組は若者の投票率向上にもつながる。担当記者のお話からも、熱心に取り組まれていることがわかりました。1時間早めたり議員の方を呼んだり、素早い対応で地域に根差したケーブルテレビさんならでは。地域のメディアとして頑張ってもらいたい。

横山委員：パワーを感じた。新人女性議員が駆けつけたことがその証拠。女性が注目された選挙でした。そしていい得点をとった。専門分野で発揮をするというのが画面から感じた。学生のアンケートを見て、追って番組にもしてほしいなと思いました。

小池会長：円グラフは、2回見てやっとわかりました。どちらのことを説明しているのかわからなかったの、またご検討いただけたらと思います。

信大の学生のアンケートについてですが、今までこういう取り組みはあったんですか。

浅輪副部長：地域課題解決の有志団体 CHANGE の活動で、全議員にアンケートは初めてではないかなと思います。若者の視点から若者に取材した。学生が投票に行きづらいのか。なんとなく意見が通らないと思っているから、投票に行かないのか。改めて伝え方を考えるきっかけになった。今までもアンケートしていましたが、これまでこんなに回答が来たのは初めてだということです。最終的に 31 人から回答がきた。市議会にアンケートのことや取り組みが伝わっている

浅輪副部長：若者が政治に頼らないご時世になっていて、松本の普通選挙運動の始まったこともあって、歴史から始めなければいけないんじゃないかなと思っています。1ポイントでも投票率をあげるために何ができるのかなと思っています。

臥雲市長になってから毎週記者会見を中継しています。塩尻も毎月、こういった行政の話題をなるべく多くしていけないといけない、民レベルで考えていることを問題提起も考えやっていきたい。活発な議論のきっかけ作りをしていきたい。コツコツ地に足をつけて、市民にとっても考えるきっかけにしていきたい。あらゆる課題を隅々まで細かく拾っていききたいと考えています。

小池会長：メディアと行政の連携が大切なのではないかと思いましたが、行政の方からどう考えているのか、お願いします。

石坂委員：地域の自治会など加入が少なくなっている。これも投票率と関連がある。

自分たちの街を自分で変えていけるという期待感を持ってもらわないといけない。

タウンミーティングだけでなく、意見交換の場を増やしていく。

小中高で身の回りの困っていることや課題を拾っていかないといけないし、意見を言える場を増やしていきたい。

どんな目線でもいいから、言える・実現した・叶ったというループを回していくことで、実感を伴えば、投票行動につながる。子供のうちから成功体験を増やしていくことが有効かなと思います。またそれを告知していくことがいいかなと思います。

嵯峨委員：一週間のうち課題番組のどれかを見た人は投票に行っていると思います。

毎日ラインで市議選のことを送ると、だいぶブロックされました。

逆効果だったのかなと反省しています。臥雲市長は、NHKの出身ということで、報道に熱心で、市長会見のyoutubeも300再生くらい。

松本のシンカも多くて1000回。ちょっとでも関心を持っていただけるよう、我々のものやテレビ松本の視聴者さんをどんどん増やしていくにはなかなかないアイデアがないかなというところです。高齢者が選挙に行くから、高齢者向けの訴えになると思われる。

とにかく若者が投票に行き、政治に関心を持ってもらえるようにしたいと思います。

大月委員：期日前投票が増え、出口調査の精度も上がっているのだと思うので、開票速報は8時放送開始も続けてもらえたらと思います。

現場担当記者の番組ですが、担当分けているので、喋らないときは怖い顔して待っているだけになっていて、テロップもあるので色々移動できるかなと思いました。

浅輪副部長が真摯に反省されていましたが、テレビ松本さんのことだけではなく、若い方にどう関心を持っていただけるかが重要。

視聴者も、若い人から高齢者までいろんな人に見ていただけるといいと思います。地区の将来像を描いていくためにも、関心を持っていただけるようにと思います。

小池会長：市政に関心を持ってもらうために何かありますか。

浅輪副部長：行政が我々を活用してもらえればと思います。メディアとしても投票率低下の総括していかなければと思います。

選挙のスタイルが変わっているじゃないですか。今後どういう手段が、問題提起にあっているのかと考えたいです。これから嵯峨副市長・石坂副市長だけでなく市議の方にも協力いただきたいと思っております。一度だけ上がったのは構図によってということがあります。そうでなくても、投票行動につながるような政策を出したり、というのがあればと思います。我々の番組制作としても1歩も2歩も足りていないと思っています。

上條委員：選挙権を得るまでに学校教育などで考える機会があればと思います。将来のことに不安を持っている人は少なくないと思うのですが、将来のことを考える余裕がないんじゃないかなど。将来につながる第一歩を踏み出せるようにすれば、投票率向上につながるのかなと思います。

小池会長：いちばんの問題は、投票率の低下、テレビ松本さんだけのせいではないですが、メディアの責任は大きいので、これからも取り組んでいただければと思います。